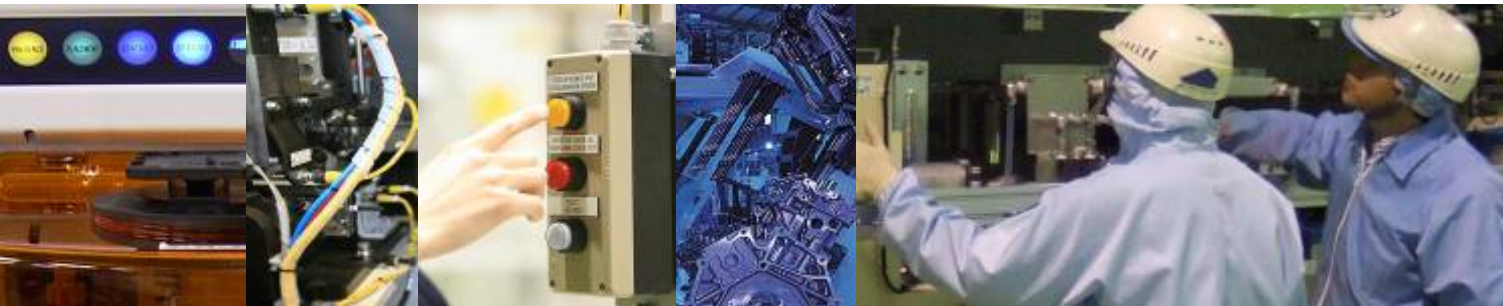


2008年3月期 中間期 個人投資家向け会社説明会

平田機工株式会社 2007.11.20



The Global Production Engineering Company
Hirata



企業概要

- 社名 平田機工株式会社(Hirata Corporation)
- 東京本社所在地 東京都品川区戸越3丁目9番20号
- 熊本本部所在地 熊本県鹿本郡植木町一木111
- 代表者 代表取締役会長 平田 耕也
代表取締役社長 米田 康三
- 設立年月日 1951年12月29日 (創業1946年)
- 従業員数 1,194名(単体) 1,813名(連結) (2007年9月30日現在)
- 資本金 2,633百万円(2006年12月)
- 株式上場 JASDAQ証券取引所上場
- 証券コード 6258
- 事業内容 各種生産ラインシステム、産業用ロボット及び物流関連機器等の製造ならびに販売

平田機工の歩み

創業 1946年(昭和21年) 創業者 平田 恒一
平田 耕也

運搬車メーカーから生産設備システムメーカーへ

1951年(昭和26年) 平田車輛工業株式会社を設立

リヤカー・産業用車両など運搬車の製造販売

1970年(昭和45年) フリーフロー方式コンベアシステム開発

生産ラインに流される製品を作業者の手元で止めることで、作業効率を飛躍的に高めたコンベア
国内外の大手家電メーカーで採用

1982年(昭和57年) 組立用スカラ型ロボットの実用化に成功

各種自動組立ラインを納入



事業領域と業績動向

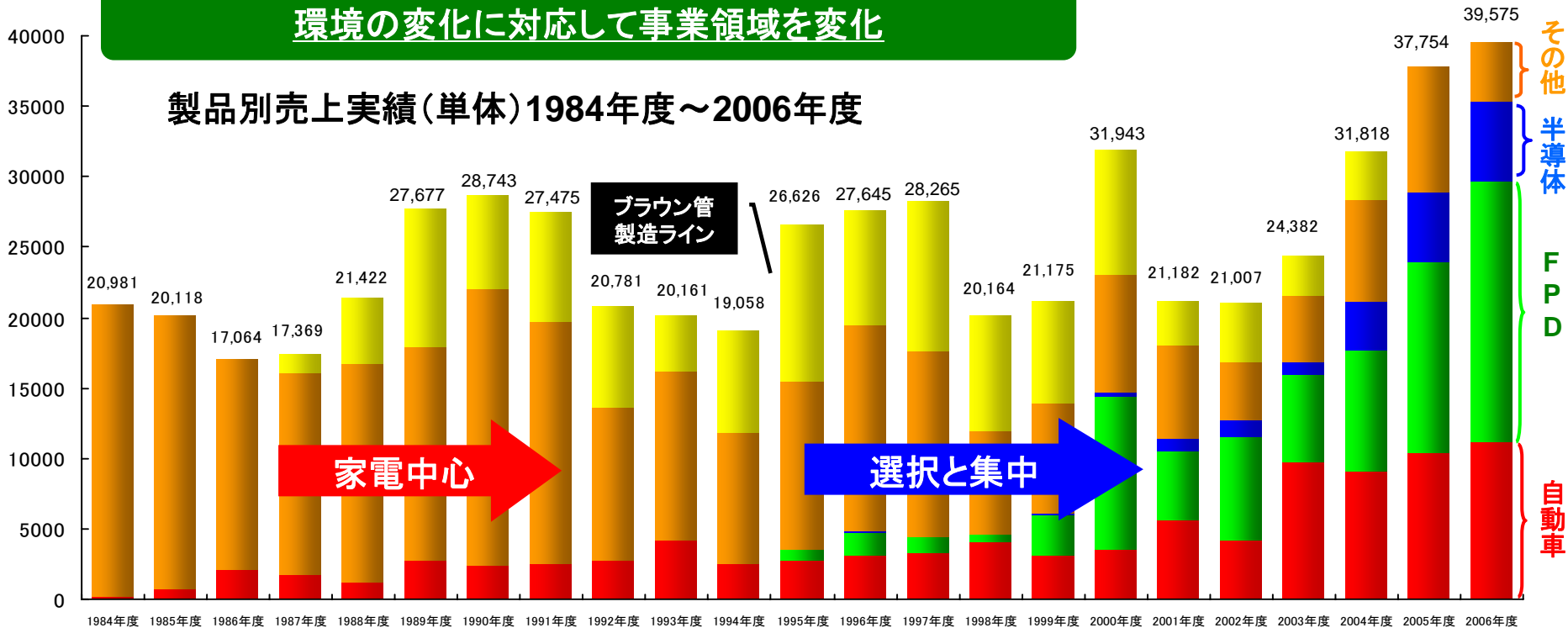
事業領域の変化



百万円

環境の変化に対応して事業領域を変化

製品別売上実績(単体)1984年度～2006年度

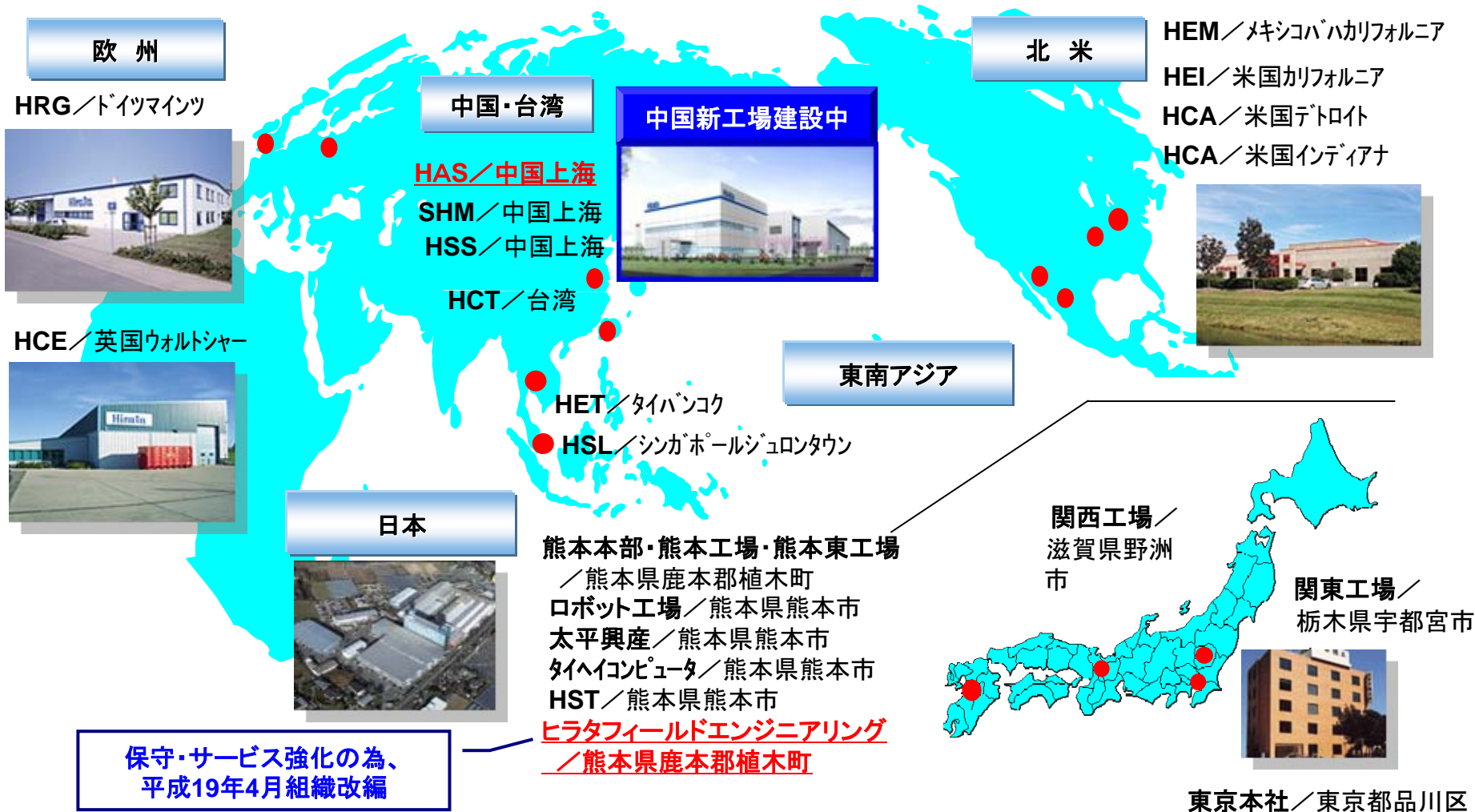


国内・海外拠点

国内・海外拠点

国内6拠点(5工場) 海外12拠点(8工場)

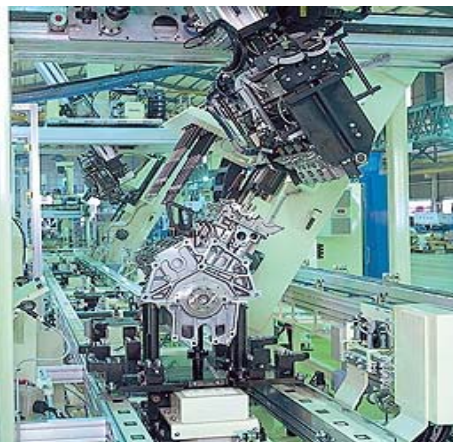
現在、世界40カ国に及ぶ各分野におけるトップクラスのお客様から高い信頼と評価をいただいています



お客様の生産技術を向上するHirataの生産設備システム

自動車関連生産設備事業

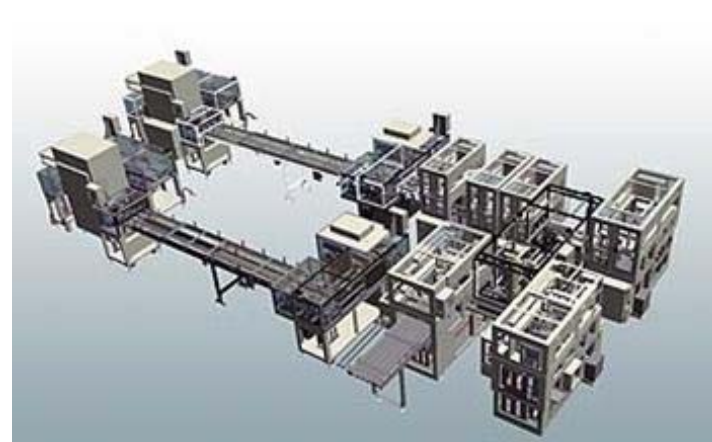
エンジン・トランスミッション関連設備



エンジン組立設備



トランスミッション関連設備



自動車部品関連設備

2001年 米国GM社 エンジン組立ラインの受注獲得

2007年 米国クライスラー社 エンジン組立ラインの受注獲得

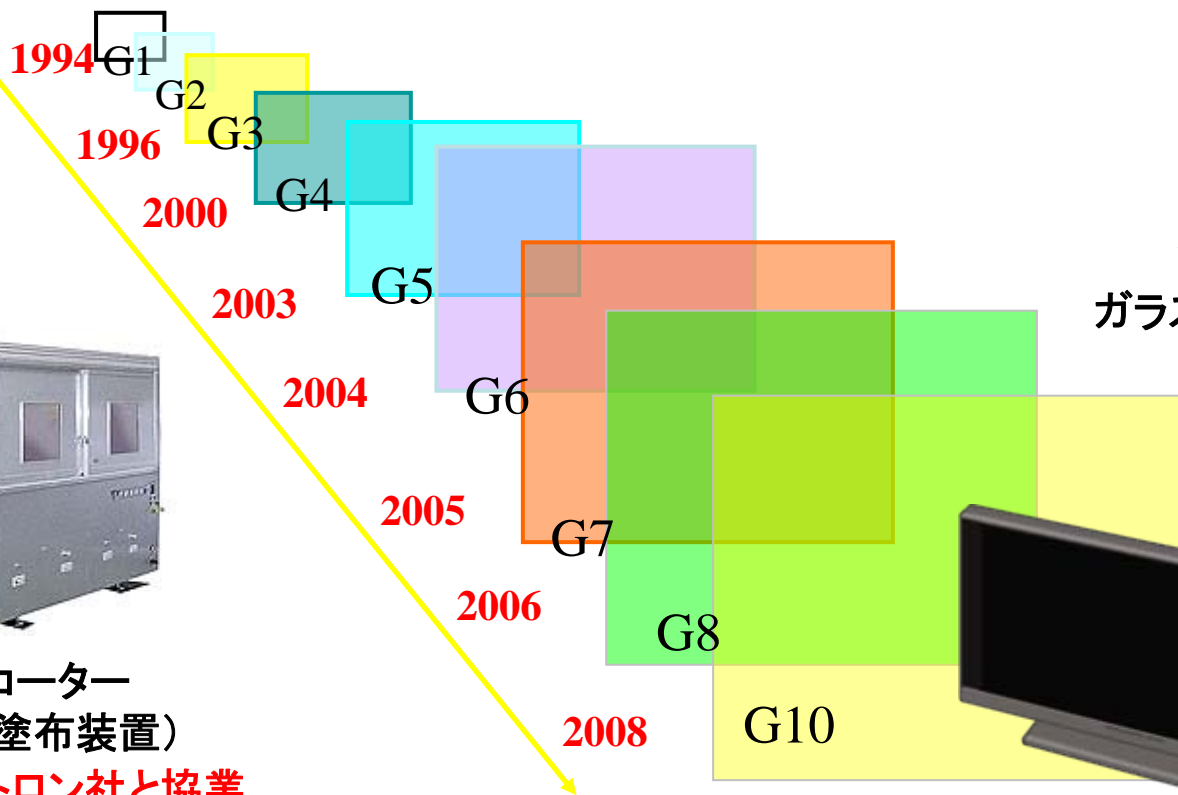
中国・欧州戦略の強化・自動車部品分野への参入

お客様の生産技術を向上するHirataの生産設備システム

FPD関連生産設備事業

搬送ロボットやプロセス装置を組み合わせた生産システム

大型化するガラス基板



ヘッドコーター
(レジスト塗布装置)

東京エレクトロン社と協業



第10世代対応
ガラス基板搬送ロボット



お客様の生産技術を向上するHirataの生産設備システム

半導体関連生産設備事業

プロセス間及びウェハ搬送用ロボット等の搬送装置

2007年 米国BST社と業務提携



真空ウェハ搬送システム



ウェハ搬送ロボット



ロードポート



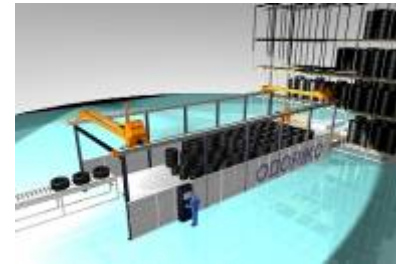
EFEM

L&M関連生産設備事業

冷蔵庫・薄型TVなどの家電製品組立ライン

タイヤ関連設備

(タイヤ搬送システム・タイヤ仕分け機)



タイヤ製品仕分けラックレスストック

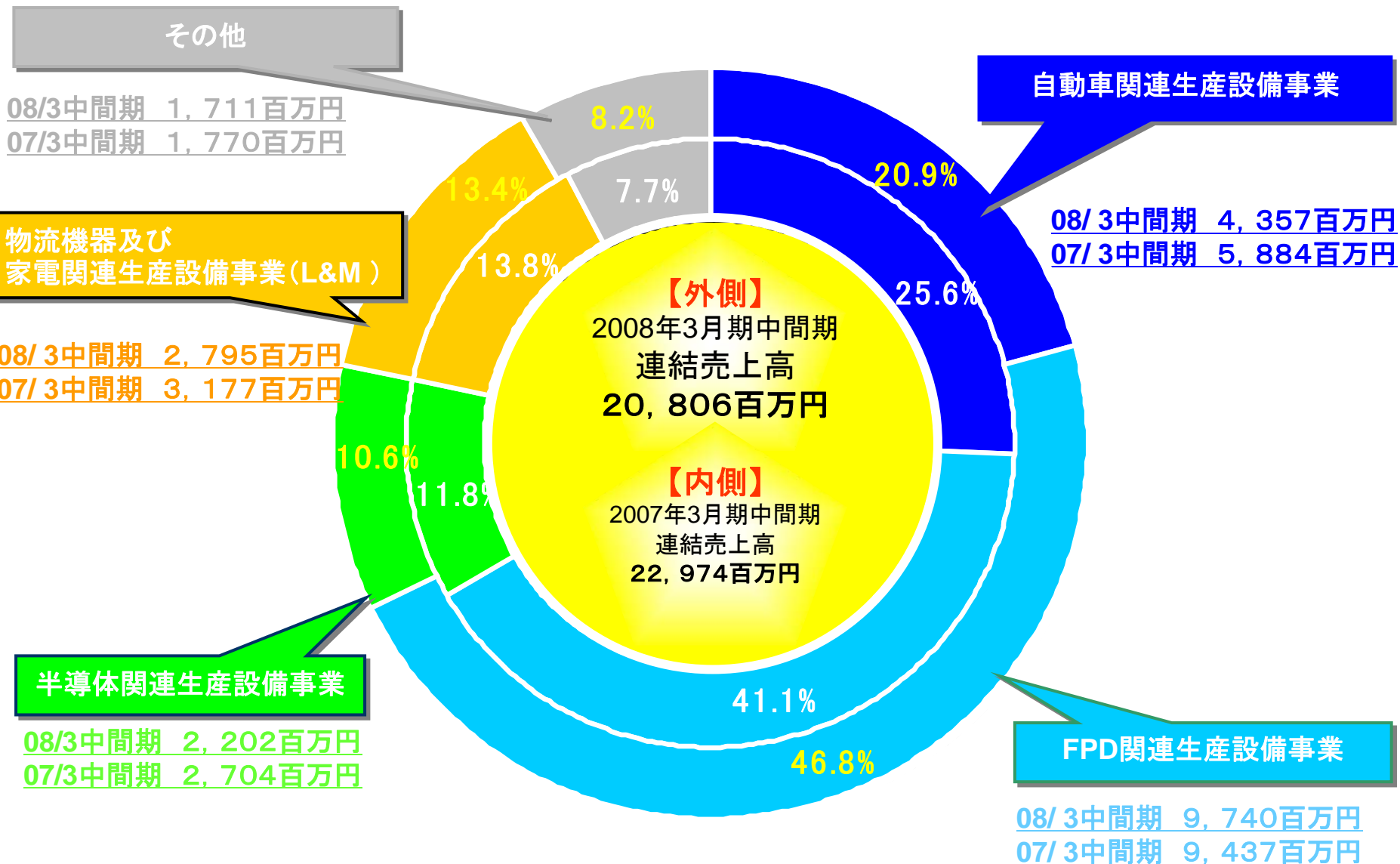


冷蔵庫組立設備



薄型TV組立設備

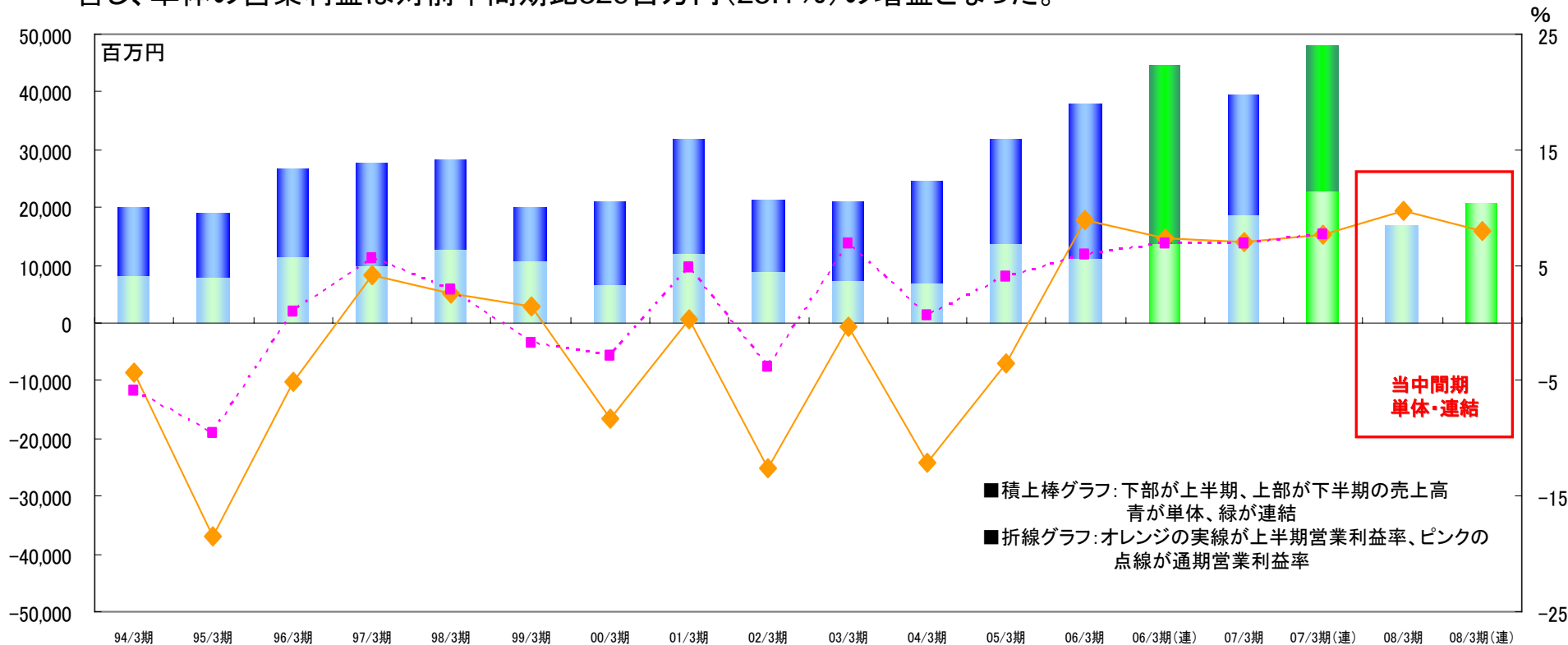
中間期決算状況 事業部門別売上高構成比



I 中間期決算状況

2008年3月期中間期の実績

- ◆ 売上高では、単体・連結ともに過去最高であった前中間期の実績には達しなかったものの、営業利益率では、単体で対前中間期比2.7ポイント増の9.7%、連結で0.4ポイント増の8.0%と、中間期としては過去最高となった。
- ◆ 連結売上高は、自動車関連生産設備事業の減少等により対前中間期比9.4%の減少となった。原価率の低減により、売上総利益は対前中間期比8.8%増加したが、研究開発費、J-SOX関連費用等の増加に伴い販管費が対前中間期比17.9%の増加となった。この結果、営業利益の絶対額は対前中間期比71百万円の減少となったが、営業利益率では、単体で対前中間期比2.7ポイント増の9.7%、連結で0.4ポイント増の8.0%と改善し、単体の営業利益は対前中間期比329百万円(25.1%)の増益となった。



今期業績の見通し 連結業績予想

- ◆ 売上高は、自動車関連事業とFPD関連事業が前期・前々期の史上最高売上に及ばず減収となるが、半導体、L&M等で補って増収を計画
- ◆ 営業利益は、社内加工生産量の拡大による外注費の削減、品質向上活動による追加・無償工事費用の圧縮等により、増益確保を目指す

(単位:億円、%)

	2007年3月期	2008年3月期			
		上期(実績)	下期(見通し)	通期(見通し)	対前期増減
売上高	481	208	292	500	+3.8%
自動車関連	130	43	84	128	▲2.6%
FPD関連	183	97	80	177	▲3.4%
半導体関連	57	22	42	64	+11.5%
L&M関連	76	27	62	90	+18.3%
その他	34	17	24	41	+19.6%
営業利益(率)	37(7.7%)	16(8.0%)	21(7.3%)	38(7.6%)	+2.5%
経常利益(率)	34(7.1%)	15(7.6%)	20(6.9%)	36(7.2%)	+5.2%
当期純利益(率)	18(3.9%)	6(3.1%)	13(4.6%)	20(4.0%)	+7.0%

自動車・FPD・半導体分野における生産エンジニアリングの リーディングカンパニーへ

2007年 — 2009年
中期経営計画

持続的な成長を可能にする基礎づくり

中長期発展の基礎確立の為、組織的な経営体制の整備・強化

生産エンジニアリングとモノ造りを両輪としたグローバル企業

持続可能な競争力と安定的な業容・収益

■ 1・2・3・4計画の現状と見通し(単体ベース)

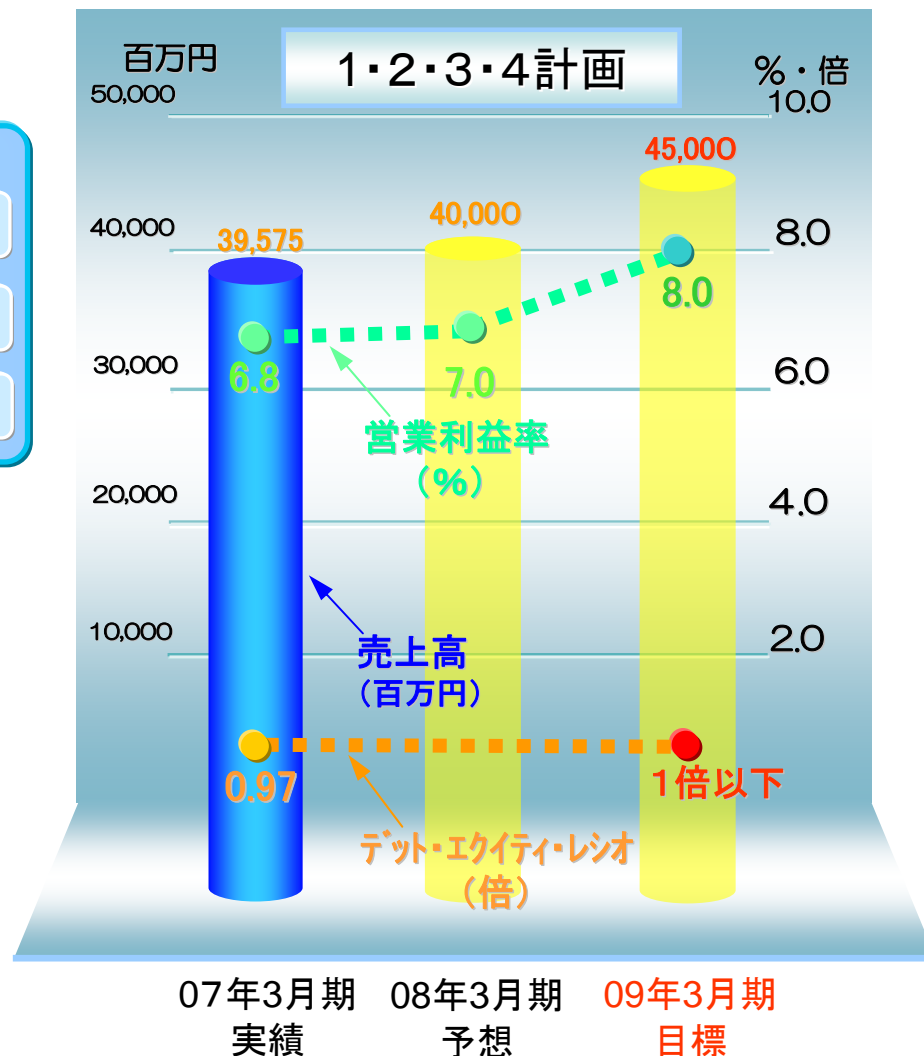
● 09年3月期に当社単体で以下の目標を達成する。

1: 有利子負債比率(デット・エクイティ・レシオ) **1**以下
当中間期実績は1.0倍。堅調に推移している。

2: 営業利益率 **2**倍(対05年3月期4.0%比)
当中間期実績は9.7%。堅調に推移している。

3: リードタイム **30**%以上削減
LT30プロジェクトによる削減活動を展開中。

4: 売上高 **450**億円以上
当期計画を達成すると共に更なる受注拡大を図る。



株価推移と株主還元策

株価推移と株主還元策

2008年3月期 配当予想 1株あたり17円50銭



当社の事業紹介・IR情報などは当社のホームページからご覧いただけます。

当社ホームページアドレス

<http://www.hirata.co.jp>

当社IRサイト

<http://www.hirata.co.jp/ir/index.html>



株主・投資家情報についてのお問い合わせはこちらをご利用ください。

平田機工株式会社 IR・広報室

TEL 096-272-5558 FAX 096-272-3618

IR窓口 hirata_ir@hirata.co.jp

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。